

Canopus MTVX2004

発売 2004 年 2 月

標準価格 19,800 円

項目	内容
対応	Windows 2000/XP
MPEG エンコーダ	Philips 製、SAA6752HS
解像度	720x480 480x480 352x480 352x240
ビデオビットレート	最大 15M ビット / 秒 (I フレームのみの場合、 最大 25M ビット / 秒)
コントロールソフト	FEATHER2004
ボードサイズ	156mm x 107mm

MTV シリーズでは、初代の MTV1000 から Panasonic 製の MPEG エンコーダを採用していたが、MTVX2004 では、Philips 製の「SAA6752HS」に変更された。エンコーダの変更により、最高 25Mbps での MPEG-2 キャプチャ (I フレームのみ) が可能となった。

テレビチューナは MTV3000W と同様のソニー製。新たにチューナユニット内に専用のステレオデコーダチップを搭載し、音声ノイズを低減。「クリアな音質を実現した」という。また、NEC 製のゴーストリデュースや 3D Y/C 分離回路、3D ノイズリダクションを備えている。なお、3D Y/C と 3DNR は排他利用となっている。

SAA6752HS アンテナ入力や、ビデオ入力、アナログ音声入力を装備する MTVX2004 の解説

また、MTVX2004 を MTVX シリーズのスタンダードモデルと位置づけ、「画質に関わらないデジタル部分に (安価な) 標準部品を採用して低価格化した。ひらたく言ってしまうと、MTV2000 相当の機能を MTV1200HX の価格で実現するもの」という。

MTV シリーズと比較して、CPU 負荷率の低減も図られた。アンテナ入力のほか、S 映像入力、アナログ入力、ライン出力を装備する。

コントロールソフトも一新され「FEATHER2004」となった。録画ファイルのサムネイル表示や、全画面の iEPG 予約画面などを追加し、操作性の向上を図った。特に、別売のリモコンによる操作性を改善し、「家電機器に近い操作を目指した」という。また、ライブラリ機能の MediaLibrary の改善により、ホームネットワークソフト「HomeEdge」とライブラリが共用可能となった。

MTVX シリーズで唯一 CGMS-A 無反応のカード